

「どこシル伝言板」により認知症徘徊対策に取り組みます！

認知症徘徊対策のため都城市認知症高齢者等見守りシール交付事業「どこシル伝言板」を開始し、認知症の方や家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域住民の理解を深め高齢者を地域全体で支える環境をつくります。

●「どこシル伝言板」とは

認知症の方などが行方不明になった際に、発見者がQRコードを読み取るだけで、本人に対応する必要な情報をWeb上で家族と共有でき、早期の帰宅につなげます。#

・発見から帰宅までの流れ

- ① 登録者が行方不明になった際、衣類などに貼ったQRコードを発見者が読み取ると、家族等へ瞬時に「発見通知メール」が届きます。
- ② 発見者はQRコードを読み取ると、行方不明になっていた方のニックネームや注意すべきことなどが表示され、対応方法が分かります。
- ③ 発見者と家族等は、チャット形式の伝言板で情報交換ができ、迎えまでのやり取りを迅速に行うことができます。

・対象者

市内に在宅で生活する方で、徘徊により行方不明となる恐れのある65歳以上の方や認知症と診断された方

・配布シール

- 1人当たり耐洗シール40枚と蓄光シール10枚を配布
- 耐洗シールは、家庭での洗濯や乾燥で200～300回使用可能
- 蓄光シールは、杖等に貼って使用
- QRコードのシールのロゴにぼんちくんを使用



配布シール

・ シールの貼付例



・ 全体の流れ

